

地域連携だより



第7回在宅医療・介護連携研修会を開催！

令和2年2月12日、研修会に44名の関係者が参加されました。

今回は、善通寺市消防本部 救急救命士の日野雄介氏より「善通寺市における救急搬送の現状と課題～DNAR 対応について～」のテーマでご講義いただきました。DNARとは、疾病の末期に救命の可能性がない患者に対して、本人または家族の要望によって心肺蘇生術を行わないことを指します。医療現場では比較的聞き慣れた用語ですが、一般的にはほとんど普及しておらず、最近 ACP（人生会議）についての話題が少しずつ取り上げられるようになったことで、救急現場においても「DNAR」に関する事案が少しずつ出てきているようです。救急救命士は基本的に救急要請があれば、要救護者に対して救命処置を施さなければなりません。ですが、DNARについての正しい知識の普及や事前の話し合い不足、明確な対応のルールがないという点で、救急現場に駆けつけてから蘇生は希望していないと言われるなど、対応に困ってしまうこともあり、今後 DNAR についてのルール作りや他機関との顔の見える関係作りが課題であるとお話がありました。

その後のグループワークでは、講義を受けて課題と感じたことと、それに対して自分ができることについて活発に意見交換をし、参加者同士で学びを深めました。

日野さんのご講義



- ・初めて聴く内容だった！
- ・とても難しい問題…
- ・職種ごとに見方が違っていて新たな発見があった！
- ・ルール作りは必要！

意見交換の様子



課題

- *いざという時は家族が代弁するようになるが、本人と家族や家族の間でも意見の食い違いがある。
- ⇒元気なうちから家族で話し合える環境づくりが必要。
- ただし、話し合ってもその時々で意見が変わることは自然なことなので、何度も話し合うことが大事。
- *どれだけ話し合いをしたとしても、いざという時は救急車を呼んでしまう。
- ⇒救急車を呼ばずに主治医に連絡するよう、事前に本人・家族、主治医を交えて話し合っておくことが大事。
- ⇒話し合いの結果を書いた書面や救急車を呼んでしまった場合の対応についてルール作りが必要。
- *その人がDNARを希望しているか、すぐに主治医に確認することが難しい。
- ⇒主治医が本人や家族の意思を確認し、記録していくルール作りが必要。

自分ができること

- *市民はもちろんのこと、医療・介護関係職種の認知度もまだまだ低いので、職場に帰って職員研修を行う。
- *行政として、広報や77歳対象のアンケート、市民講座など、いろいろな機会でも ACP や DNAR について周知をしていく。
- *ケアマネとして、本人・家族と医師の間に入り話し合いをする。そのためにも日頃から医師をはじめとした他職種とコミュニケーションをとっておく。

あったら良いな

- *お薬手帳や保険証に意思表示できる欄を設けてみたらいいかも！

在宅医療・介護・認知症情報マップを リニューアルしました！！



この度、「在宅医療・介護情報マップ」と「善通寺市認知症ケアパス」を1冊にまとめた「在宅医療・介護・認知症情報マップ」を作成しました。善通寺市内の医療・介護に関する情報と、現在増加してきている認知症についての情報をひとまとめにすることで、より市民の皆様手に取ってもらいやすくなりました。

医療機関・介護事業所の皆様には、情報がなく困っている市民の方がいましたら、配布しているマップをお渡しくださいませう、お願いいたします。

情報共有に係るアンケート調査の結果報告

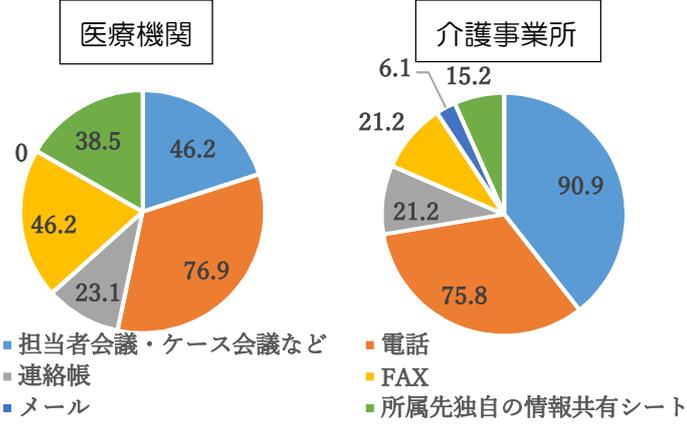
令和元年秋に、医療・介護関係者の皆様に「情報共有に係るアンケート調査」を実施しました。皆様、ご協力ありがとうございました。

医療と介護の連携には、それぞれが持つ患者・利用者の情報を適宜共有し、関係者が一緒になって対象者の支援を考えていくことが大切ですが、アンケートを通して改めてその必要性を共通認識できたと考えております。

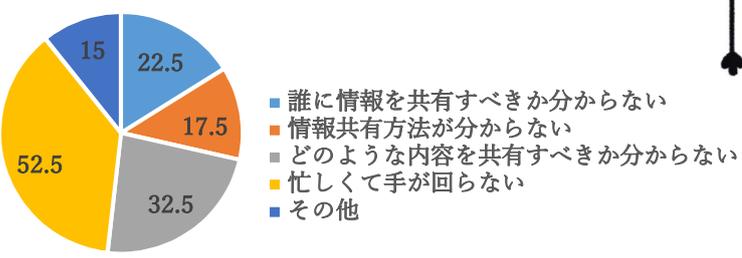
Q. 医療↔介護間で対象者の情報の共有はしていますか？

医療機関 している 52% していない 48%
介護事業所 している 100%

Q. 情報共有方法 (%)



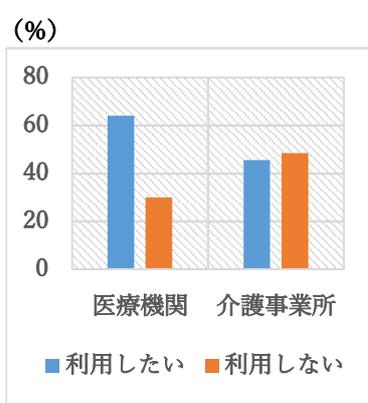
Q. 情報共有（連携）がしにくい理由 (%)



◎メディカルケアステーション（以下MCS）について

回答いただいた方の9割が、アンケートの質問で初めてMCSのことを知ったと回答されました。MCSは、県内での利用のため、令和元年度に香川県長寿社会対策課が香川県医師会と共に検証を行っている情報共有のための無料アプリです。今後、善通寺市でも導入していく可能性があるため、今回のアンケートで皆様にご意見を伺いました。

Q. MCS を利用してみたいですか？



新しいシステムを導入することで、情報交換がスムーズになるという利点がある反面、情報共有の大切さは分かっても忙しくて手が回らないというご意見が半数以上の方からありました。今後、導入を検討していくにあたり、できる限り皆様のご理解を得られる形を模索していけたらと思っております。

善通寺市地域包括支援センター（高齢者課内）
TEL (0877)63-6364 **FAX** (0877)63-3778
Mail houkatsu@city.zentsuji.kagawa.jp